

事務事業名	まちなか新設出店にぎわい創出支援事業			担当	産業部 商工観光課 商業係		
政策名	E	地域と産業が調和する活力あるまちづくり			増補版施策名	IV-8 空き店舗再活用事業	
施策名	2	商業の振興			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
関連個別計画	真岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成23 年度～） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）	
法令根拠	真岡市補助金等交付規則、中心市街地空き店舗等活用事業補助金交付要綱						
予算科目	1. 一般会計	7. 商工費	1. 商工費	2. 商工振興費			
事業概要	中心市街地の空き店舗対策として、回遊性と賑わいのある街づくりを図っていくため、空き店舗を活用した出店者に対し改装費等の補助を行う。 ・対象地域＝真岡地区……真岡市中心市街地活性化基本計画に規定する荒町、田町、台町の一部 二宮地区……概ね国道294号久下田上交差点から久下田下交差点までの沿線区域 【改装費補助】・対象経費＝天井、壁、床、塗装、サイン、電気、給排水工事、厨房設備、冷暖房設備等 ・補助率＝対象経費の30%（限度額60万円） 【家賃補助】・対象経費＝家賃（礼金、敷金を除く） ・補助率＝対象経費の50%（限度額3万円） チャレンジショップ支援事業（平成29年度から） 【改装費補助】店舗改装費、備品代など、対象経費の3/4（限度額500万円） 【家賃補助】家賃の3/4以内（限度額月15万円）						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）		⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移																																															
30年度実績 ・補助金支払いに伴う事務及び創業支援 改装費補助…補助件数 1件、補助額415千円 家賃補助…補助件数 5件、補助額 968千円 合計補助額 1,383千円 ・チャレンジショップ家賃補助 1件 495千円(1年分) 31年度計画 ・商工会議所、商工会と連携を図り、空き店舗情報の提供や創業相談を進める。 ・チャレンジショップ入居者への経営支援について、商工会議所に働きかける。		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(実績)</th> <th>30年度(実績)</th> <th>31年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 空き店舗改装費補助</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>1,800</td> <td>1,800</td> <td>415</td> <td>1,800</td> </tr> <tr> <td>イ 空き店舗家賃補助</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>190</td> <td>878</td> <td>968</td> <td>720</td> </tr> <tr> <td>ウ 新規補助件数</td> <td>件</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>エ チャレンジショップ改装費補助</td> <td>千円</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1,633</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>オ チャレンジショップ家賃補助</td> <td>千円</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0</td> <td>495</td> <td>495</td> </tr> </tbody> </table>						名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	ア 空き店舗改装費補助	千円	0	1,800	1,800	415	1,800	イ 空き店舗家賃補助	千円	0	190	878	968	720	ウ 新規補助件数	件	0	3	3	1	3	エ チャレンジショップ改装費補助	千円	-	-	1,633	-	-	オ チャレンジショップ家賃補助	千円	-	-	0	495	495
名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)																																											
ア 空き店舗改装費補助	千円	0	1,800	1,800	415	1,800																																											
イ 空き店舗家賃補助	千円	0	190	878	968	720																																											
ウ 新規補助件数	件	0	3	3	1	3																																											
エ チャレンジショップ改装費補助	千円	-	-	1,633	-	-																																											
オ チャレンジショップ家賃補助	千円	-	-	0	495	495																																											
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等		⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移																																															
中心市街地の空き店舗		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(実績)</th> <th>30年度(実績)</th> <th>31年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア：推計空き店舗数(真岡地区)</td> <td>件</td> <td>51</td> <td>48</td> <td>45</td> <td>43</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>イ 同 (二宮地区)</td> <td>件</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	ア：推計空き店舗数(真岡地区)	件	51	48	45	43	40	イ 同 (二宮地区)	件	8	8	8	8	8	ウ							エ							オ						
名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)																																											
ア：推計空き店舗数(真岡地区)	件	51	48	45	43	40																																											
イ 同 (二宮地区)	件	8	8	8	8	8																																											
ウ																																																	
エ																																																	
オ																																																	
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか）		⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移																																															
中心市街地への新規出店を増大させ、賑わいを創出し活性化を図る。		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(実績)</th> <th>30年度(実績)</th> <th>31年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア：新規出店数</td> <td>件</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	ア：新規出店数	件	1	3	3	2	3	イ							ウ							エ							オ						
名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)																																											
ア：新規出店数	件	1	3	3	2	3																																											
イ																																																	
ウ																																																	
エ																																																	
オ																																																	
④ 結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか）		⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移																																															
中心市街地の活性化と売り上げの増大		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(実績)</th> <th>30年度(実績)</th> <th>31年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア：商品販売額(卸売業・小売業) 28商業統計</td> <td>億円</td> <td>-</td> <td>1,198</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	ア：商品販売額(卸売業・小売業) 28商業統計	億円	-	1,198	-	-	-	イ							ウ							エ							オ						
名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)																																											
ア：商品販売額(卸売業・小売業) 28商業統計	億円	-	1,198	-	-	-																																											
イ																																																	
ウ																																																	
エ																																																	
オ																																																	
(2) 総事業費の推移		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)																																										
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0																																										
		国庫支出金	千円	0	0	0	0																																										
		県支出金	千円	0	0	0	0																																										
		地方債	千円	0	0	0	0																																										
		その他	千円	0	0	0	0																																										
		一般財源	千円	0	1,990	4,311	1,878	3,015																																									
	事業費計(A)	千円	0	1,990	4,311	1,878	3,015																																										
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2																																										
		延べ業務時間	時間	60	60	80	80																																										
		人件費計(B)	千円	251	249	332	334																																										
トータルコスト(A)+(B)		千円	251	2,239	4,643	2,212	3,349																																										

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	平成20年度から3ヵ年実施した「木綿の里もあか「ほっと」なまちづくり推進事業」を契機に、真岡木綿会館周辺エリア（特に門前地区）の空き店舗を活用した新たな出店があった。 増加している空き店舗対策として、創業支援と空き店舗を活用した中心市街地の活性化と賑わいの創出を図るため、この事業を実施した。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	事業効果をより高めるため、平成24年度から追加支援策を講じている。 ・市商工振興資金の創業資金利用者に対し、保証料の全額補助を実施。（平成24年度から） ・補助対象者の拡大…商店街組織やコミュニティ団体も補助対象とする。（平成25年度から） ・家主への奨励金制度の創設…商工会議所の空き店舗バンクに登録し、借主が開業に至った場合、家主に対し報奨金を支給。（報奨額：家賃の2ヵ月分、限度額10万円）（平成27年度～30年度） ・空き店舗を利用した真岡商工会議所が運営するチャレンジショップ事業を支援する。 ・平成29年度～チャレンジショップ支援事業（改装費補助＝対象経費の3/4、限度額500万円まで、家賃補助＝家賃の3/4以内、限度額月15万円）（平成29年度から）
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	空き店舗が目立つので、今後も制度の周知や創業者への支援などが必要。

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 地域内にある空き店舗への新規出店を促し、地域商店街の機能維持・向上が図れることから、市の施策に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市街地の活性化による商業の振興は、市の施策なので妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 創業を支援し、中心市街地への新規出店を増大させ活性化が図れるので適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 中心市街地の空き店舗解消に向け、市が主体となって、継続的に新規開業者を支援するものであり、向上の余地がない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 廃止又は休止すると、新規出店や活性化の誘導対策がなくなるので影響がある。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 補助率が3/10で、限度額が60万円であり、適正である。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 創業相談や補助金交付事務等で、市の人件費は最小限であり、削減困難である。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 対象経費の3割を補助するものであり、残り7割は事業主が支出しているので公平公正である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							